

ほけんだより 2月

新型コロナウイルス、感染再拡大中です！

昨年度末は比較的落ち着いていた新型コロナウイルス感染症ですが、年が明けてから新たな変異株『オミクロン株』が勢いを増しています。保護者の皆様におかれましても、不安な日々を送られていることと思います。本校では、下記の通り対策に努めています。ご家庭におかれましても、引き続き、朝の健康観察などご協力をよろしくお願ひいたします。

穂北中での感染症対策

検温	毎朝家を出る前に検温を行い、登校後に体温記録表に記入。健康観察時に確認。
マスク着用	学校内でのマスクの着用の徹底・正しいマスクの使い方の呼びかけ。 ※ 体育の授業や部活動などの際は、間隔を空けてマスクを外すなど、活動内容に応じた対応をしています。
手洗いの徹底	体育の授業後、給食の前、トイレの後、その他共有物の使用前後など
水分補給	年間を通しての水筒持参のお願い(のどの乾燥防止など)
手指の消毒	登校後、給食の前、トイレの後、その他共有物の使用前後など
学校内の消毒	生徒が手を触れる箇所(ドアノブ・手すり・電気のスイッチ・水道の蛇口等)は給食前や清掃時間、放課後等に適宜学級担任や養護教諭等が消毒
換気	常時、15~20cm程度、教室や廊下窓を対角線上に開けておく。
その他	給食の黙食、ソーシャルディスタンス確保の呼びかけ



3種類のコロナウイルス検査の違いって？

検査の種類	PCR検査	抗原検査		抗体検査
		抗原定性検査	抗原定量検査	
目的	現在感染しているかどうか	現在感染しているかどうか 陽性か陰性かを調べる (※薬局で売られているのはこっち)	現在感染しているかどうか どのくらいの量が存在しているかを調べる	直近、または過去に感染していたかどうか
精度	高い	一定のウイルス量が必要 ※ウイルス量が少ないと陰性となってしまう	定性検査より少ないウイルスで検出可 ※PCRよりは劣る	今現在感染しているかの判定には向かない
方法	唾液から採取	鼻腔咽頭ぬぐい/唾液	鼻腔咽頭ぬぐい/唾液	採血
時間	数時間	15~30分	15~30分	多くは数十分

参考：厚生労働省HP

新型コロナ新たな変異株…「オミクロン株」って？

昨年11月ごろに出現したオミクロン株。まだ分かっていないことが多いですが、現在分かっている特徴などを紹介します。

オミクロン株って何だろう？

2021年11月に初めて確認された新型コロナウイルスの新たな変異ウイルス。

WHO(世界保健機関)も、「懸念される変異ウイルス」に指定しており、現在全世界で流行がみられています。

今分かっているオミクロン株の特徴は？

1. 感染力が高い

感染力はデルタ株の1.5倍~3倍。また、発症するまでの期間(潜伏期間)が短く、短期間で感染が広がりやすい。



2. 免疫回避能力が高い

ワクチンの効果を弱める可能性がある。

3. 病原性は下がっている

感染力は強いが、鼻やのどでウイルスが増えるため、従来株より軽症や無症状で済み、重症化しにくい傾向がある。

「オミクロン株」の主な症状



○ 上記のような **風邪症状が中心** となっている。

○ 味覚や嗅覚障害(味やにおいが分かりにくくなる)、肺炎の症状は、従来株と比べて少なくなっている。

いつもの風邪かコロナか、非常に見分けがつきにくい！！

子どもでも感染しやすいの？

オミクロン株は、**子どもへの感染も多く報告されています**。また、風邪症状と見分けがつきにくく、無症状の場合もあることから、学校での子ども同士の感染やクラスターも多く発生しています。特に、12歳未満の子どもは、ワクチン接種を受けていないために、今後も感染に注意が必要です。



オミクロン株が感染拡大するなか、オミクロン株より世の中にあふれているものがあります。それは**情報**です。過度に恐れず甘くみすぎず、今後も引き続き正しい対策をしていきましょう。

参考：諏訪中央病院HP 玉井道裕医師作成 オミクロン株編



毎朝、お忙しい中ご家庭での検温・風邪症状の有無等のチェックにご協力いただき、ありがとうございます。生徒に発熱や倦怠感、のどの違和感などの風邪症状があり、普段と体調が少しでも異なる場合や、同居する家族等に同じような症状がある場合は、無理に登校せず、ご家庭で様子をみていただきますようよろしくお願いします。**(欠席扱いにはなりません)**

